



友道校長先生からのお便り

今年の7月14日(金)に來山先生とサッカー部の「福山学校元気大賞」受賞式を行いました。

授賞式には、治療中にも関わらず友道校長先生がお祝いに駆けつけ熱いメッセージを頂きました。

その後、友道校長先生は8月下旬より治療の中で最大の難関とされる造血細胞の移植を行われ、見事「移植した造血細胞が活動開始(移植成功)」という最高のお便り(「友道校長のガン(癌)ばっ！取る通信」)を頂きましたので紹介します。映画化された「はなちゃんのみそ汁」のはなちゃんのお父さん安武信吾さんもお見舞いの訪問をされたようです。

また、裏面にはこの最大の難関に立ち向かう前(8月24日)に友道校長先生より皆さんにメッセージを送って頂いたものを印刷しています。皆さんが自分自身に向き合うときの勇気・応援のメッセージにしてください。

『移植した細胞が活動開始！』

神様、ありがとう！

僕に新しい血液を授けてくれて！

僕は蘇ることができる

二本足で歩いていける

僕の口で美味しいものが食べられる

主治医が伝えてくれた。

「造血細胞の生殖ができ、新しい血液を作り始めている。昨日の段階では白血球の数値が上昇し、通常の値に回復。あと、赤血球と血小板の上昇が今後あるだろう。今後これらが上昇することで、生殖は成功と言える段階まできた。よく頑張りました。」

主治医の言葉に感動したよ。

天にも駆け上がりたい気持ちです。陽は昇る。

僕は生きていくスベ(術)を手に入れることができたんです。

でも、これからが大変だと言うことは、重々承知しています。

頑張ります。僕には希望しかありません。

【友道校長先生、復活のVサイン！】



【安武さんがお見舞いに！】

『はなちゃんのお父さんが見舞いに』

15日(金)には無菌室からの外出が許可されました。その日に「はなちゃんのみそ汁」の安武信吾さんがたまたまお見舞いに来てくれたんです。仕事の関係で福岡から福山に来る用事があり僕に連絡をしてくれたんです。たまたま外出を許可されたことを伝えと、倉敷まで来てくれたんです。

安武さんは僕の入院生活を支えてくれた 1 人なのです。亡くなった千恵さんへの看病の経験を生かしたアドバイスは、僕を支えてくれました。例えば、昼夜逆転になりそうな生活態度を優しく戒めてくれ、ガンに立ち向かうためには基本的な生活習慣を守ることが一番だと諭してくれました。僕の実病生活を影で支えてくれ、快方に向かったら真っ先に僕に会いに行くからと言っていたのを実現させてくれたのです。

2人でガンについていろんなことを話しました。「無敵」バッジと言って、忌野清志郎さんや千恵さんが亡くなるまで身につけていたものをプレゼントしてもらいました。娘のはなちゃんのこと話題にはなり、久しぶりに人間らしい会話に心が躍ったのです。・・・(「友道校長のガン(癌)ばっ！取る通信」9/16号より一部抜粋) (裏面へ)



友道校長先生から大成館中学校生徒の皆さんへのメッセージ

生徒の皆さんは、全員素晴らしいものを持ち合わせている。
君たちは必ず伸びる。
君たちは必ず輝くことができる。

もし伸びなかったり、輝けないのは、それなりの理由があるからです。
例えば、もうすこし努力したら伸びるのです。
努力を続けることは簡単なようで、実は難しいことです。
執念がいるんです。

校長先生は、今必死で治療を続けています。
毎日吐き気や目まい、頭痛、腹痛、発熱と戦っています。
それは、生きようと思うからです。
ここで諦めてしまったら、僕は死んでしまうでしょう。
生きるためには「執念」が絶対にいるんです。
勉強の努力も同じで、あと少しだけ頑張ろうとするには「執念」がいるのです。

もう一つ、輝くためには「出会い」が必要なのです。
「出会い」はどんな人にも同じようにあるのです。
でも、それに気づくかどうかは、その人の力なんです。
素晴らしい出会いに巡り合うため、
あなた自身が素晴らしい人であろうと努力していますか？
あなた自身が他人のために一生懸命頑張ろうとしていますか？

そんな頑張っている人に不思議とステキな出会いがあるのですよ。
ステキな出会いは君たちをさらに輝かせてくれます。
最後にもう一度言います。

あなたたちは皆んな素晴らしいのです。
そこにいてだけで素晴らしいのです。
その素晴らしさを形にできるのはあなたたち自身しかいません。
あと少し、歯を食いしばって頑張りましょう。